

環境負荷低減の取組を消費者にアピールするイベントを開催

環境負荷低減に取り組む生産者を紹介するとともに、消費者が「みえるらべる」等を貼付した農産物を手に取る機会を創出するイベント「みどりの食料システム戦略～環境にやさしい農産物を食べよう！～」を開催。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

当拠点では、環境保全型農業を推進するため、イベントの開催や当該農業を実践する農業者を紹介する「道南 green farmer map」の配布などに取り組むとともに、食品スーパーの農産物バイヤーへのヒアリングを行ってきた。その中で、消費者からは「そもそも有機農産物のことが分からない」、「有機農産物の取扱い店が少ない」、バイヤーからは「消費者の理解がなければ取り扱うのは難しい」との意見があったことから、消費者に有機農業をはじめとする環境負荷低減の取組をより一層身近に感じてもらうことを目的にイベントを開催することとした。

○ 取組の内容

イベントでは、環境負荷低減に取り組む生産者の思いを伝えるインタビュー動画を上映したほか、有機JASマークや「みえるらべる」を貼付した農産物を販売するコーナーを設置。生産者の熱意に触れ、多様な種類の有機農産物等を手に取れるようにし、消費者に関心を持ってもらえるよう工夫した。

○ 効果・成果、今後の方向性

消費者に有機農産物等を幅広く紹介することができ、アンケートの結果、来場者の85.9%が「展示が分かりやすかった」、98.1%が「みえるらべる」が表示された農産物を「購入したい」と答えるなど、一定以上の効果があったと考えられる。

今後は、これまでにヒアリングを行った食品スーパーに対し、消費者の購買機会を増やしていくための働きかけをより一層進めていく。



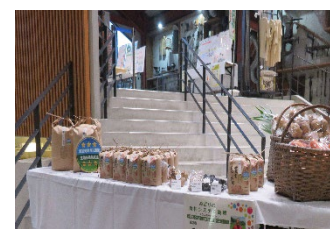
イベントの様子



生産者のインタビュー動画



イベントの様子



「みえるらべる」が貼付された農産物の販売コーナー

